

クリエイタースクールで学ぶ「JAVA」

NO.01 : JAVA基礎

- 1-1 Java概要 -

Javaはオブジェクト指向のプログラミング言語で、プログラムを一度作成すればUNIX、Windows等、どのような環境でもプログラムを実行することができる、「Write Once, Run Anywhere」という特徴を持っています。また、同じメッセージを送信しても、受け手のオブジェクトのクラスにより、処理する内容が異なるポリモルフィズム(多態性)という特徴を持っています。1995年以降、Sun Microsystems社は適用分野ごとに次の3種類のJavaをリリースしています。また、Javaで作成できるプログラムは2種類に分けられ、それぞれ実行形態により判別されます。

Javaの種類

種類	内容
Java Platform, Standard Edition (Java SE)	Javaの標準機能を提供
Java Platform, Enterprise Edition (Java EE)	標準機能に基幹システム向け機能を追加
Java Platform, Micro Edition (Java ME)	携帯電話、PDA向け機能を提供

Javaで作成できるプログラム

種類	内容
Javaアプレット	Webブラウザ上で実行される
Javaアプリケーション	ローカルマシン上で実行される

Javaプログラムは全ての処理は、つまたは複数のクラス内で行われます。プログラムは最低でも一つのクラスが含まれています。Javaアプリケーションは、main()メソッドから開始されます。